



発行所 十勝毎日新聞社 千080 帯広市東1条南8丁目 電話=編集@2121、広告@2323、総務・販売@2222 ©十勝毎日新聞社 1987

宇宙誘致への提言

—航空宇宙工業会の概要と宇宙開発のかかわり—

「コスモビ」構想

その名の通り、航空工業と宇宙産業を広くカバーしている民間公益団体で、メーカーを中心に百六十数社が会員として加盟している。国際協力を進め、具体的なプロジェクトを推進している航空機と比べる、宇宙の方は地球な活動となるが、宇宙開発事業団(NASDA)との事業関連性があり、委託企業の信頼性を確保するに努めた。宇宙に開いては先進的な技術、こつた夢のある話を手とめ

日本航空宇宙工業会専務理事 荒尾 保一氏 (53)



今年四月に二十一世紀の宇宙開発の将来像を描いた「コスモビ」構想をまとめた。宇宙に開いては先進的な技術、こつた夢のある話を手とめ

て、将来へのビジョンを示したわけだ。ただ、これはあくまでも構想であり、実現への具体性はなく、宇宙開発政策大綱など政策のレベルを通じて決まる。産業界として、日本もできるだけの時期に取り組みたいという。提言は

望に立った施策がないと、予算の妥当性を欠くことなどが列記されている。宇宙開発の現状をどう見ますか。

宇宙開発は各方面に波及効果及ぼすので、重点的な投資が望まれるが、予算の伸びは停滞している。アメリカと比較すると予算はわずか二十分

北海道的な土地必要 北海道を含め、各地で航空宇宙にかかわり、地域の振興

九月、講演会のために吉小牧を訪れて、誘致に対し非常に熱心だと感じた。また、よく勉強してあげられ、事態をよく承知していた。

九月、講演会のために吉小牧を訪れて、誘致に対し非常に熱心だと感じた。また、よく勉強してあげられ、事態をよく承知していた。

着実な努力の継続を

短兵急に成果求めるな

の、非常にアンバランスな図をうたっている。ただ、財政再建が叫ばれる中で、宇宙開発予算一つだけを伸ばす、と言っているのは歓迎すべきこと、と言っているのは無理な話だ。七月、国際航空ショーで、選択的に投資する必要がある。未来産業というのは成長のスピードが速いものだが、現状は横ばい、日本の開発は

では「コスモビ」構想の、すくと考えるのは甘い。立地中のスペースステーションに相当する部分盛り込まれていないか、基地表現による地域の波及効果はどうか、に

九月、講演会のために吉小牧を訪れて、誘致に対し非常に熱心だと感じた。また、よく勉強してあげられ、事態をよく承知していた。

年間キャンペーン「目指せ宇宙基地」第七部